

事務事業調書

平成26年度

事業No	783	課	スポーツ課	係	施設管理係	起案者	岩瀬重利
						決裁者	野畑伸
事務事業名	レジャープール施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 5 スポーツ施設の効率的利用と整備充実 1 公共スポーツ施設の充実			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-30-25		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	有	体育施設の設置及び管理に関する条例						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	平成17年6月議会指定管理者制度導入について						
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成11年度	経過	15年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	利用者が			~になる	気軽に利用できる		
事務事業の内容	環境クリーンセンターのごみの焼却熱を利用した、レジャー型温水プールの管理運営を行います。							
改善・対策の履歴	利用者への安全環境・情報提供とともに利便性の向上を進めていきました。 開設から14年が経過し、経年劣化及び使用劣化が進んだため、平成25年度に空調設備の機械である吸収式冷凍機の修理を行い、安全快適な環境を向上しました。 指定管理者が運営するホームページにて情報発信を図ることで、施設が持っている集客能力を最大限発揮させることができました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	172,767	64,999	73,360	71,968	76,926
財源計	164,892	62,479	68,635	67,243	72,201
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	801	0	0
	一般財源	164,892	61,678	68,635	67,243
受益者負担金	0	801	0	801	0
職員人件費 (従事職員数)	7,875 (1.25)	2,520 (0.40)	4,725 (0.75)	4,725 (0.75)	4,725 (0.75)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	施設保守管理(一式)	活動の総事業費 (千円)	172,767	62,020	62,020	
			活動にかかるコスト (千円)	172,767.00	62,020.00	62,020.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	206.00	178.00	211.00	204.00
	利用者数(千人)			実績	178.00	211.00	204.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	平成24年度開設日数303日(プール291日) 定期点検ため2月19日(火)から3月15日(金)までレジャープールのみ休止 24年度利用者内訳: プール専用利用36,840人、プール個人利用148,680人、トレジム利用24,480人 平成25年度開設日数276日(プール264日) クリーンセンター改修及び定期点検ため1月27日(月)から2月28日(金)まで全館休止 25年度利用者内訳: プール専用利用33,156人、プール個人利用151,678人、トレジム利用19,834人

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	指定管理5年間の契約とともに、毎年、年度協定を更新しています。 前年度と同様な活動コストで講座、教室、イベントに毎年新規の企画を盛り込み集客増を図ります。
成果	指定管理者としての経験を活かした自主事業を実施し、集客数の増大を図った結果、営業日数1割減に対し、利用者数は前年度比97.5%を確保することができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
指定管理者として経費的にも節約ができ、かつ民間ならではの事業を取り入れ利用者には好評を得ています。ただし、安全管理については、指導を怠らないようにし、事故を起こさないように徹底を図ります。 毎月初日にデータ確認と定期打ち合わせを現地にて実施しています。利用者の安全、快適環境の確認とともに、施設の保安状況の打合せと向上を図ります。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	民間活力を導入することで、施設が持っている集客能力を最大限発揮できることが実証されていますので、今後も継続的に事業を行っていきます。